

特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所 (所在地：東京都品川区)

事業名

りんごプロジェクトによるアクセシブルな読書活動の推進と生涯学習の拡大

事業の趣旨・目的

- 趣旨) 図書館や学校等で読書バリアフリーを推進し、誰もが自分らしい学びを生涯にわたって継続できる社会を目指す。
- 目的) ・読書や図書館利用に困難のある人が、自分に合った読み方を見つけ、生涯学習へのきっかけを得られるようにする。
・多様なニーズに応えることで、公平性と公共性の高い情報拠点としての図書館を各地に広げていく。

事業実施体制・連携先

NPO法人ピープルデザイン研究所/りんごプロジェクトが主体となり事業を実施
連携先) 神奈川県川崎市・横浜市教育委員会事務局、読書バリアフリー専門家、横浜市学校・地域コーディネーター、ボランティア、障がい当事者、出版社、図書館関係者、教育関係者、大学生など

主な対象

読書、図書館利用、情報入手等に困難のある人

活動分野

学習/普及啓発/人材育成

事業内容

【体験会】

令和6年度までの実績を踏まえ、体験会の開催を継続。弊社監修の「りんごの棚と読書バリアフリー」(全3巻、フレーベル館)を活用し、読書バリアフリーの普及啓発活動も積極的に行う。

- ▷内容・読書の困難を抱える当事者や一般市民に向けたアクセシブルな
図書の体験会、研修会、点字体験会など
・講師によるレクチャーの後にアクセシブルな図書を体験、質疑応答

▷アクセシブル図書の種類

点字・拡大文字・音声デジター・マルチメディアデジター・点字付き絵本・ユニバーサル絵本・布の絵本・LLブックなど

▷参加について

障害の有無はもちろん職業や年齢等に関わらず参加可能。参加費は基本無料。

【学校への授業】

今年度はこれまでの実績をふまえて、主に特別支援学校での出張授業を中心にこなう。

▷内容

- ・障害特性を考慮し、アクセシブルな図書の説明と体験会をおこなう
- ・特別支援学校の学校図書館への「りんごの棚」の設置や教職員の資質向上を目指して情報提供を行う
- ・高等学校や小中の通常級への授業を通じて児童生徒に対して障害の社会モデルや学びの多様性に対する理解を深める
- ・若い世代からも障害者の生涯学習の機会を広める機運を醸成する

【成果報告会】

「超福祉の学校@SHIBUYA」イベント(渋谷ヒカリエ)において、シンポジウムと体験会を開催予定。

【「りんごの棚」の設置・拡大】

公共図書館・学校図書館・地域施設との連携

事業終了後の目指す方向性

「りんごの棚」と読書バリアフリーの普及を軸に、障害者の生涯学習の機会拡大を継続的に推進する。特に以下の4点を柱に全国展開と持続的運営を目指す。

- ・図書館・学校等と連携した体験会等の汎用モデルの構築
- ・障害者の主体的な学びと社会参加の促進
- ・一般企業を含む多様な主体との連携による読書支援の拡充
- ・ネットワークの全国展開と資金基盤の確保による継続体制の構築

その他



「超福祉の学校」
シンポジウム動画



監修本
「りんごの棚と読書バリアフリー」



りんごPJのHP